

教科用図書の調査研究報告書（総括）

種目名	社 会（地図）
-----	---------

発行者	総合的な所見
東 書	<p>第1の観点</p> <p>①地図帳の使い方では、学習の案内役のキャラクターを活用し学んでいくという方法がとられている。</p> <p>②国際理解に関しては、巻頭で、世界各地の名所や名物、各国の挨拶「ありがとう」が、それぞれイラストと一部の英語とともに紹介されている。</p> <p>第2の観点</p> <p>①巻頭ページの世界地図と日本地図を示す際に、国ごとや都道府県ごとの特産物・動物・文化等を記載し、児童の興味・関心を高めることができるようになっている。</p> <p>②索引では、それぞれの項目が種類ごとに2つの色と記号を用いて分けられている。</p> <p>第3の観点</p> <p>①世界の統計資料を紹介する項目では、統計表に加えて「オリンピックとワールドカップ」と「世界の州とおもな海洋の広さ」について記載されている。</p> <p>第4の観点</p> <p>①日本全図では、巻頭や巻末、それぞれの掲載ページにおいて、都道府県及び地域別に、有名なもの、日本とそのまわり、地形、気候、産業、交通、都市、歴史、文化、自然災害が項目ごとに示されている。ユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインされている。</p> <p>第5の観点</p> <p>①日本の歴史とその当時の世界の情勢を関連付けながら調べることができるようになっている。歴史上、世界との関わりがあったできごとを当時の世界の勢力図を用いて、世界の歴史と日本の歴史をつなげ、地理的な視点で捉えられるようになっている。</p> <p>②「ホップ・ステップ・マップでジャンプ」というコーナーが設けられており、学習内容を表現する活動につながる問いが示されている。</p>
帝 国	<p>第1の観点</p> <p>①地図帳の使い方を問題解決的に掲載し、地図の見方では色分けをして</p>

示されている。

- ②国際理解に関しては、巻頭で、世界各地の名所や名物、各国の挨拶「こんにちは」、盛んなスポーツ等が、それぞれイラストや英語とともに紹介されている。

第2の観点

- ①巻頭ページの世界地図と日本地図を示す際に、世界地図では「その国の有名なもの」「日本が多く輸入するもの」、日本地図では「それぞれの都道府県の有名なもの」が記載され、児童の学習意欲を高めることができるようになっている。

- ②索引は、それぞれの項目を5つの色と、6種の記号で記されている。
(世界は3色)

第3の観点

- ①世界の統計資料を紹介する項目では、統計表に加えて「日本の農水産物・資源の輸入先」について記載されている。

第4の観点

- ①日本全図では、巻頭や巻末、それぞれの掲載ページにおいて、都道府県及び地方区分、有名なもの、日本の領土とそのまわり、地形、気温、自然災害、土地利用、産業、歴史、日本の世界遺産が項目ごとに示されている。ユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、児童の色覚特性に配慮した色づかいとなっている。土地の高さを立体的に捉えることができるようになっている。

第5の観点

- ①地図と歴史を関連付けて調べることができるようになっている。地理的な視点で歴史を捉えることができ、特に明治元年と現在の土地利用の様子を比較して見るができるようになっている。
- ②「地図マスターへの道」というコーナーが設けられ、調べたり、考えたりしたことを説明、発表する方法が示されている。